



## 1年生を迎える会

今日、5月10日(水)5時間目 『1年生を迎える会』が行われました。8日(月)に実施する予定でしたが、雨のために延期になっていました。

お天気がとてもよくて暑いくらいでした。そして、全校児童が初めて全員集合した記念すべき日になりました。

2年生から6年生までが待ち構える中を、花のトンネルをくぐって、1年生が入場しました。「本郷小〇×クイズ」や、「言うこと一緒 やること一緒ゲーム」(保護者の皆さんは知っていますか?子供たちはみんな知っています。お子さんに教えてもらってください。)など、微笑ましい楽しい雰囲気の中で、あっという間に時間が過ぎました。

最後に、2年生が、自分たちが昨年育てたアサガオの花の種を1年生へプレゼントしました。今年は、この種を1年生が植えます。1年生には感謝の気持ちが、2年生には、ちょっとお兄さん、お姉さんになった自覚が芽生えることでしょう。

【ケヤキの木が見守っているかのようです】



【みんなが待つ中を6年生が先導で1年生入場】



【アサガオの種プレゼント】

【実行委委員によるクイズ・ゲーム】

1年生からお礼の言葉が言われた際には、上級生みんなが顔を上げて、静かに耳を傾けている様子が見られました。1年生を思いやる温かい心が感じられて嬉しくなりました。

「1年生を迎える会」は、6年生の実行委員が行いました。以前は、異年齢の集団活動が活発に行われていましたが、しばらくできなくなっていて、昨年度から「迎える会」も復活して、こういった機会を少しずつ増やしています。何度も練習を重ねて、工夫して進めてくれた6年生の実行委員の姿を見て、「あんな6年生になりたい!」と思う子供たちがたくさんいたのではないのでしょうか。高学年児童の活躍を下の学年の子が見ることは、互いに刺激し合うことになり、教育的な効果はとても大きいものです。改めて、こうしてみんなが集まって過ごす時間の大切さ、学校のある意義を感じる時間でもありました。